

平成27年度 自己点検自己評価

平成27年度自己点検自己評価(平成27年4月1日～平成28年3月31日)による

大項目	小項目	チェック項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)
			極めて優れている…5 優れている…4 適切…3 若干改善が必要…2 根本的改善が必要…1			
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	<input type="checkbox"/> 理念に沿った目的・育成人材像になっているか <input type="checkbox"/> 理念等は文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 理念等において専門分野の特性は明確になっているか <input type="checkbox"/> 理念等に応じた課程(学科)を設置しているか <input type="checkbox"/> 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか <input type="checkbox"/> 理念等を学生・保護者・関連業界等に周知しているか <input type="checkbox"/> 理念等の浸透度を確認しているか <input type="checkbox"/> 理念等を社会的要請に的確に対応させるため、適宜見直しを行っているか	5		教育理念・目的・育成人材像は、明文化・文章化されており、会議や研修等においては、これらを用いながら行うことで理念等の普及・徹底を実現している。また、マーケティングとイノベーションにより、社会の新たな人材ニーズと見出し、育成人材像として明確化して学科を創設してきた。 学校法人滋慶学園は「職業人教育を通して社会に貢献していく」ことをミッション(使命)にしている。建学の理念①実学教育②人間教育③国際教育を実践し、4つの信頼(①学生・保護者からの信頼②高等学校からの信頼③業界からの信頼④地域からの信頼)を得られるよう学校運営をしている。建学の理念に基づいて、福岡ベルエポック美容専門学校は、「美容に関する高い専門技術、知識、情報力、感性、創造力、コミュニケーション力をもった美と健康のコーディネーターとして、他社から信頼していただける『指名される美容施術者』を育成する。また、その育成を通じて、若者から高齢者まで幅広い世代の人々が心と身体ともに健やかに美しく、豊かに生きていける社会に貢献する。」ことを目的として学校運営をしている。本校では、美容・ブライダル業界の動向を凝視しながら、毎年カリキュラム、授業内容の見直しを行っている。また、業界の変化に対応できる人材の育成に力を入れ、開校の目的の実現を目指している。	1、実学教育 スペシャリストが求められる時代に即し、即戦力となる知識技術(テクニカルスキル)を教授する。プロ意識を持った『即戦力として仕事ができる人材』を、各業界との連携のもと『各々の業界に直結した専門学校として』養成する。 2、人間教育 開校以来『今日も笑顔で挨拶を』を横断として掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーションを大切にしている。学生は技術・スキルだけでなく、コミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル(ヒューマンスキル)や逞しさを身に付ける。同時に、自立した社会人・プロの職業人としての身構え・気構え・心構えを養成する。 3、国際教育 より広い視野でモノを捉える国際的な感性を養う。日本人としてのアイデンティティを確立したうえで、価値観や文化の違いを尊重できるようにする。
	1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	<input type="checkbox"/> 課程(学科)毎に、関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にしているか <input type="checkbox"/> 教育課程・授業計画(シラバス)等の策定において、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)にかかわらず、教員採用において、関連業界等から協力を得ているか <input type="checkbox"/> 学内外にかかわらず、実習の実施にあたって、関連業界等からの協力を得ているか <input type="checkbox"/> 教材等の開発において、関連業界等からの協力を得ているか	5		講師面談や業界訪問等により、業界が求める人材像を明確にするとともに、教育課程・授業計画等策定に活かされている。各学科における実習等について、業界協力を得ながら、全ての学生が滞りなく実施することが出来ている。	常に業界とのコミュニケーションを図り、業界から遊離せず産学協同での教育を心がけている。
	1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 特色ある職業実践教育に取り組んでいるか	5		事業計画において「業界連携(コラボ)」「体験型学習プログラム」の推進を掲げ、独自の教育プログラムを構築している。	
	1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	<input type="checkbox"/> 中期的(3～5年程度)な視点で、学校の将来構想を定めているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を教職員に周知しているか <input type="checkbox"/> 学校の将来構想を学生・保護者・関連業界等に周知しているか	5		「業界連携(コラボ)」「体験型学習プログラム(ベリリアルプログラム)」をキーワードに、中・長期の事業計画を策定している。	
2 学校運営	2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 運営方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 運営方針は理念等、目標、事業計画を踏まえ定めているか <input type="checkbox"/> 運営方針を教職員等に周知しているか <input type="checkbox"/> 運営方針の組織内の浸透度を確認しているか	5		学校事業計画は、学校運営会議、法人常務理事会、法人理事会、法人評議員会の決議を受け、承認を得ている。また、学校の事業計画は毎年3月初旬に研修を行い、全教職員へ周知徹底している。 法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教職員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するように努める。	学校運営をマネジメントシステムの準備(計画)と実行として捉え、マネジメントスキル、知識、そしてリーダーとしての研修を重視している。マネジャーは組織運営者であることを前提としている。
	2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	<input type="checkbox"/> 中期計画(3～5年程度)を定めているか <input type="checkbox"/> 単年度の事業計画を定めているか <input type="checkbox"/> 事業計画に予算、事業目標等を明示しているか <input type="checkbox"/> 事業計画の執行体制、業務分担等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 事業計画の執行・進捗管理状況及び見直しの時期、内容を明確にしているか	5		学校の組織目的と中期的学校構想のもと、事業計画を作成し、毎年の教職員研修で方針・計画を発表している。また、事業計画を教職員が自立的に計画・決定し全員で共有している。その上で、職場運営が実行されている。 法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を作成している。事業計画を立てること、運営方針を定めることは、常に同時に考え、実践している。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。	事業計画を教職員が自立的に計画し決定し全員で共有する。その上で職場運営が実行に移されている。その運営のチェック機能として①学園の常務会議、②学校ごとの戦略会議(運営責任者会議)、③運営会議(学科責任者会議)、④学科会議、部署会議があり、計画遂行の確認をする。問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを確立している。
	2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	<input type="checkbox"/> 理事会、評議員会は寄附行為に基づき適切に開催しているか <input type="checkbox"/> 理事会等は必要な審議を行い、適切に議事録を作成しているか <input type="checkbox"/> 寄附行為は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか	5		理事会は年に4回実施。事前に議題調査を行い審議に漏れが無いかの確認をしている。議事録についても関連部署へ配布し、決定事項の周知徹底をしている。寄附行為は法人内「コブライアンスプロジェクト」を立ち上げて、適正に管理を行っている。	
	2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校運営に必要な事務及び教学組織を整備しているか <input type="checkbox"/> 現状の組織を体系化した組織規程、組織図等を整備しているか <input type="checkbox"/> 各部署の役割分担、組織目標等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の決定権限、委員構成等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 会議、委員会等の議事録(記録)は、開催毎に作成しているか <input type="checkbox"/> 組織運営のための規則・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 規則・規程等は、必要に応じて適正な手続きを経て改正しているか <input type="checkbox"/> 学校の組織運営に携わる事務職員の意欲及び資質の向上への取組みを行っているか	5		運営のための組織図は事業計画に含まれており、3月初旬の研修で共有している。 運営組織は、実行計画の最適化の観点から見直されている。その全体像は、事業計画書の組織図に示されている。 運営のチェックは、各会議で行い、計画遂行の確認をする。問題点を早期に発見し、対策を立て、実行するプロセスを構築している。 法人内に教育プロジェクトを置き、資質向上に取り組んでいる。意思決定に関しては、重要事項の優先順位と対応する機関が明確である。毎年事業計画策定という難しい作業があることで、目標志向性の高い組織運営が行われている。	①会議の進行ルール ②議事録発行と議事録配布・保管のルールを重視している。 会議についての研修を実施している。
	2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	<input type="checkbox"/> 採用基準・採用手続きについて規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 適切な採用広報を行い、必要な人材を確保しているか <input type="checkbox"/> 給与支給等に関する基準・規程を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 昇任・昇給の基準を規程等で明確化し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 人事考課制度を規程等で明確化し、適切に運用しているか	5		採用計画と人材育成のための研修は、システムとして確立され、有効に機能している。採用にあたっては、学園本部が中心となり、採用広報や、採用試験を実施している。採用は採用基準の基、厳正に実施している。また、その後の教職員の育成には、もつとも力を入れている。 そして、目標管理制度に基づき、成果に応じた人事や賞金決定が行われている。	数字目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務も過程を評価できるようにプロセス評価を導入している。目標は常に、健全な学校運営・学科運営を実現できているかの視点で立て、評価も公平に行い、学校・学科の成長と教職員の成長に結びつけていく。 また、職員の職場に関するアンケートも実施。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けての、職場環境の改善にも着手している。
	2-6-1 意思決定システムを整備しているか	<input type="checkbox"/> 教務・財務等の事務処理において、意思決定システムを整備しているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムにおいて、意思決定の権限等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 意思決定システムは、規則・規程等で明確にしているか	5		意思決定システムは事業計画において明文化しており、諸会議の位置づけについても明記されている。意思決定を行う会議の進め方、結果の取り扱いを重視し会議毎に参加者は選抜され、その中で各リーダーに権限は委譲されている。法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教職員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するように努める。	会議は、 1. 法人理事会・評議員会 最高議決機関 2. 学校戦略会議 運営方針の立案会議 3. 法人学校運営会議 運営方針の問題を発見・対策立て会議 4. 運営会議 学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議 5. 学校全体会議 決定事項の周知 6. 学校学科会議 部署の問題解決会議 7. グループ各委員会会議 広報委員会・総務人事委員会・就職委員会・国家試験対策委員会・広告倫理委員会・個人情報保護委員会・学科別教育研究委員会・災害対策委員会・カウンセラー委員会・キャリア教育委員会 8. 他、様々なプロジェクト会議がある。
2-7-1 情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	<input type="checkbox"/> 学生に関する情報管理システム、業務処理に関するシステムを構築しているか <input type="checkbox"/> これらシステムを活用し、タイムリーな情報提供、意思決定が行われているか <input type="checkbox"/> 学生指導において、適切に(学生情報管理)システムを活用しているか <input type="checkbox"/> データの更新等を適切に行い、最新の情報を蓄積しているか <input type="checkbox"/> システムのメンテナンス及びセキュリティ管理を適切に行っているか	4		個別ごとのセクションの情報システム化、その結果としての業務の効率化は推進されていると考えている。それは、業務のマニュアル化とシステム化が推進されたこと、法人内のコンピュータ関連会社の協力で、情報の一元化に成果が現れてきたことによるものである。また、業務の効率化により、教職員が直接学生と接する時間を多くすることが可能になった。		
3 教育活動	3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成方針、実施方針を文書化するなど明確に定めているか <input type="checkbox"/> 職業教育に関する方針を定めているか	5		毎年、事業計画において教育課程方針を定めている。また職業教育方針については、キャリアロードマップを作成している。 教育活動においては、本校学園グループの建学の理念から、一開校の目的・養成目的、教育目標・科目到達目標→コマ授業到達目標までが、一貫性のある教育を実践することを常に意識して、授業、学校運用を行っている。また、1コマを大切に授業、ひとり一人を大切に授業は、授業方略の理念として掲げ、特に、非常勤教員との会議などでは、説明共有している。 上記の考えをベースとして、教育課程の編成を行い、毎年、その見直しを行っている。教育課程の編成の際には、教務部長、学科長が中心となり、学科、業界、競合他校の状況・教育状況を鑑み、調査・分析を実施してから、編成作業を実施する。	今後は多様化している学生に資質に対応して、さらに乗教で教育効果が上がるプログラムの再構築が大きな課題となる。 入学前の生活環境、学歴、年齢、学力などが幅広くなっている中で、授業力の向上はもろろん、補習授業や特別授業など、幅広いプログラムの充実を実現していく。
	3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	<input type="checkbox"/> 学科毎に目標とする教育到達レベルを明示しているか <input type="checkbox"/> 教育到達レベルは、理念等に適合しているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得を目指す学科において、取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許取得を教育到達レベルとしている学科では、取得指導・支援体制を整備しているか	5		教育指導要領、学生便覧において、学科ごとの到達レベルである「養成目的、教育目標、学年、学期目標」を学生に明示している。 また資格取得指導、支援体制も学生に明示して、教育活動を実践している。	ファカルティ・ベロップメントコーディネーター(FDC)を置き、教育システム実施状況、現状把握を行い、常に課題発見に努めている。 このようなシステムを活用していくことで、資格取得、学生満足度向上に大きな成果をあげている。

3 教育活動	3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程を編成する体制は、規程等で明確にしているか <input type="checkbox"/> 議事録を作成するなど教育課程の編成過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、専門科目、一般科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の開設において、必修科目、選択科目を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 修了に係る授業時数、単位数を明示しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、適切な教育内容を提供しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、講義・演習・実習等、適切な授業形態を選択しているか <input type="checkbox"/> 授業科目の目標に照らし、授業内容・授業方法を工夫するなど学習指導は充実しているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の観点で、授業科目内容に応じ、講義・演習・実習等を適切に配分しているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の観点で教育内容・教育方法・教材等工夫しているか <input type="checkbox"/> 単位の学科において、履修科目の登録について適切な指導を行っているか <input type="checkbox"/> 授業科目について、授業計画(シラバス・コマシラバス)を作成しているか <input type="checkbox"/> 教育課程は定期的に見直し改定を行っているか	5	<p>教育課程の編成については、各学科の現場の現状や入学する学生の状況を鑑みながら、養成目的、教育目標を毎年見直ししている。</p> <p>また授業科目構成や科目配分、シラバス内容などについては、ファカルティディベロップメントコーディネーター(FDC)を配置し、学科担当者、FDC、教務部長など多数の目で作成、点検、実施を行っている。</p> <p>カリキュラム、授業形態、時間数などの詳細については、学生便覧を学生に配布し、カリキュラム理解の指導に時間を多く費やしている。</p> <p>また、シラバス、コマシラバスは学校ルールとして、配布が義務となっており、学科担当者、FDCが定期的に配布状況の調査を行っている。</p> <p>また、授業方略については、様々な研修、会議を通じて各職員が研鑽している。</p>	<p>教育指導要領、学生便覧において、教育編成の方針、教育到達レベルについては明示されている。資格に対する指導、支援体制も明確になっており、現状、この項目についての課題は無い状況である。</p>
	3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	<input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、在校生・卒業生の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 教育課程の編成及び改定において、関連する業界・機関等の意見聴取や評価を行っているか <input type="checkbox"/> 職業実践教育の効果について、卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	5	<p>教育課程の編成時には、卒業生が動ける業界の方のヒヤリング、講師などからヒヤリングを実施して、分析シートを作成してから、カリキュラム編成作業に入る形になっている。また在校生より、毎学期、授業アンケートを実施し、この結果についても教育課程に反映している。</p>	
	3-9-3 キャリア教育を実施しているか	<input type="checkbox"/> キャリア教育の実施にあたって、意義・指導方法等に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> キャリア教育を行うための教育内容・教育方法・教材等について工夫しているか <input type="checkbox"/> キャリア教育の効果について卒業生・就職先等の意見聴取や評価を行っているか	5	<p>キャリア教育のロードマップを作成してキャリア教育の指導方向性、方略を徹底している。また職員は学園内にキャリア教育に関する研修について、研修を受講している。現場実習時の訪問の際などに、ヒヤリングを実施している。</p>	<p>多様化している学生に対応した授業の実施</p>
	3-9-4 授業評価を実施しているか	<input type="checkbox"/> 授業評価を実施する体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生に対するアンケート等の実施など、授業評価を行っているか <input type="checkbox"/> 授業評価の実施において、関連業界等との協力体制はあるか <input type="checkbox"/> 教員にフィードバックする等、授業評価結果を授業改善に活用しているか	5	<p>授業評価については、毎学期ごとに全学生から、授業アンケートを実施して、講師へフィードバックし、授業方略の向上に活用している。</p> <p>また全講師と学科長・教務部長との面談を実施して授業改善を実施している。</p>	<p>アンケート内容は下記4区分16問に自由意見を加えた形式としている。</p> <p>①授業内容(5問) ②授業手法と教員の行動(5問) ③教育効果(3問) ④学生の行動(3問)</p>
	3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 成績評価の基準について、学則等に規定するなど明確にし、かつ、学生等に明示しているか <input type="checkbox"/> 成績評価の基準を適切に運用するため、会議を開くなど客観性・統一性の確保に取組んでいるか <input type="checkbox"/> 入学前の履修、他の教育機関の履修の認定について、学則等に規定し、適切に運用しているか	5	<p>単位履修、成績評価については、学生便覧内の学則施行細則にて、全学生に配布、説明を実施している。また教務会議、進級判定会議などにおいて、成績評価、単位履修についての規定等を確認、共有している。</p>	<p>毎年、学生便覧掲載内容、学則施行細則の見直しを行っており、単位認定、成績評価については入学前、入学直後のオリエンテーションや初年次教育において、詳細な説明を実施している。また成績評価、単位認定の基準に未到達が予測される学生への、補習・特別授業、カウンセリングも早期に実施し、全ての学生が卒業できる体制作りを実施している。</p>
	3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	<input type="checkbox"/> 在校生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	5	<p>学外コンテストの成果については、学校主導にて参加エントリーしており、把握している。</p>	
	3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	<input type="checkbox"/> 取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義について明確にしているか <input type="checkbox"/> 資格・免許の取得に関連する授業科目、特別講座の開設等について明確にしているか	5	<p>取得目標資格に向けての内容や資格対策授業については入学時に学生便覧・学年暦にて詳細を説明して、資格取得の動機付け教育を行っている。</p>	
	3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	<input type="checkbox"/> 資格・免許の取得について、指導体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 不合格者及び卒後の指導体制を整備しているか	5	<p>資格合格プログラムは毎年見直しを実施。不合格者、卒後指導体制についても、万全の体制をとっている。</p> <p>各学科で資格取得の目標を達成するために、対策を立て、実行している。学園全体で国家試験対策センターを設置しており、1年に数回の、資格対策研修会、勉強会に、全教員が参加して、資格合格に向けての、指導方法、指導体制について、勉強し改善している。</p>	<p>模擬試験や特別対策講座を各資格で取り入れている。</p>
	3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	<input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める能力・資質等を明確にしているか <input type="checkbox"/> 授業科目を担当するため、教員に求める必要な資格等を明示し、確認しているか <input type="checkbox"/> 教員の知識・技術・技能レベルは、関連業界等のレベルに適合しているか <input type="checkbox"/> 教員採用等人材確保において、関連業界等との連携しているか <input type="checkbox"/> 教員の採用計画・配置計画を定めているか <input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)、年齢構成、男女比など教員構成を明示しているか <input type="checkbox"/> 教員の募集、採用手続、昇格措置等について規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 教員一人当たりの授業時数、学生数等を把握しているか	5	<p>学校長、事務局長、教務部長が中心となり、事業計画に合わせた教員採用計画を立案、実施している。</p> <p>その際には、様々な団体や業界関係とのパイプを活用して採用を行い、採用規定に準じた採用となっている。</p> <p>また、教授力を高めるための、研修、勉強会も1年に数回。校内、校外において実施している。</p>	
	3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	<input type="checkbox"/> 教員の専門性、教授力を把握・評価しているか <input type="checkbox"/> 教員の資質向上のための研修計画を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による教員の研修・研究に取組んでいるか <input type="checkbox"/> 教員の研究活動・自己啓発への支援など教員のキャリア開発を支援しているか	5	<p>教員の資質向上を目的とした研修は数多く行っている。担任研修、カウンセリング研修、新入職研修など、経験や部署に対応したプログラムになっている。</p>	<p>【平成27年度研修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担任基礎研修 ・学習促進型コーチング演習 ・事例研究 ・公開授業 等
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 分野毎に必要な教員体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 教員組織における業務分担・責任体制は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 学科毎に授業科目担当教員間で連携・協力体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 授業内容・教育方法の改善に関する組織的な取組があるか <input type="checkbox"/> 専任・兼任(非常勤)教員間の連携・協力体制を構築しているか	5	<p>学科により若干の違いはあるが、年間に2回～4回の講師会議を実施し、協力体制、教科間連携を強化している。</p> <p>また常勤職員は校務分掌を明確にしたうえで、運用にあっている。また非常勤教員とのコミュニケーションツールとして、クラスノート(授業報告ノート)を授業ごとに記入して情報共有をしている。</p>	<p>教員、資格、研修については制度、内容も充実した体制をとっている。校務分掌による、常勤にスムーズな学校運用はもたらさん、非常勤教員との情報共有や教授力の向上については、様々な取り組みを行っている。</p>	
4 学修成果	4-13-1 就職率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 就職率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 学生の就職活動を把握しているか <input type="checkbox"/> 専門分野と関連する業界等への就職状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 関連する企業等と共催で「就職セミナー」を行うなど、就職に関し関連業界等と連携しているか <input type="checkbox"/> 就職率等のデータについて適切に管理しているか	4	<p>以下の7つの項目で毎月15日数字・未数字を確認し、問題がある場合の対策を立て、実行している。</p> <p>①卒業年次在籍者数 ②就職希望者数 ③求人件数(職種別・有効求人) ④内定者数(学科ごと、月ごとと累計) ⑤専門就職者数 ⑥月別内定シミュレーション ⑦学生就職活動状況表(学科、クラス別)</p> <p>いわゆる就職率(就職決定者/就職希望者)100%を長期にわたって達成している。そこで、現在は更に目標を高めて、専門就職率(学科の専門性を活かした仕事に就職した率)、就職者率(就職者数/卒業生数)の2つの数字を高め、卒業後離職率(卒業後1年目の退職率)を低くするという目標として取り組んでいる。</p> <p>また、専門就職率を常に高めるということを目指した就職支援は、「キャリアセンター、教務、学生(保護者)の三位一体の就職支援」で、現在、専門就職率は100%をキープ。この数字以下にならないように、今後も努める。</p>	<p>キャリアセンター…就職に関する相談室を「キャリアセンター」という名称で設置している。</p> <p>キャリアセンターの目的は</p> <p>①入学希望者に卒業後の就職イメージを持ってもらう入学希望者には、具体的な仕事の内容を理解してもらい、安心して学校を選んでもらえるようにする。</p> <p>②在校生に対しての就職支援は在校生には面接時におけるスキルアップ指導や、現場実習等をサポートし、プロ意識を養い育てていく。</p> <p>③同窓生(卒業生)のキャリアアップ支援</p>
	4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	<input type="checkbox"/> 資格・免許取得率に関する目標設定はあるか <input type="checkbox"/> 特別講座、セミナーの開催等授業を補完する学習支援の取組はあるか <input type="checkbox"/> 合格実績、合格率、全国水準との比較など行っているか <input type="checkbox"/> 指導方法と合格実績との関連性を確認し、指導方法の改善を行っているか	4	<p>事業計画において、単年度及び5年後までの取得率目標を設定している。また、開校以来、各学科のカリキュラムは、専門資格100%取得を重視して設計されている。</p> <p>資格取得者数及び合格率に関し、各学科において自校の結果や年度推移の把握、データ化を実施するとともに、他校の結果や全国平均合格率の推移のデータ化を行っている。</p>	<p>全ての学科において、全学生が必要な資格を取得することを目標としているが、この点に関しては未達である。しかしながら、カリキュラムの見直しはもとより、日々の学生の理解度向上のため教育プログラムの構築に努めている。</p>
	4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	<input type="checkbox"/> 卒業生の就職先の企業・施設・機関等を訪問するなどして卒業後の実態を調査等把握しているか <input type="checkbox"/> 卒業生のコンテスト参加における受賞状況、研究業績等を把握しているか	3	<p>キャリアセンターが中心に求人先を訪問して卒業生の状況の把握に努めている。卒業後1年目の勤務状況調査を毎年実施しており、平成26年度の調査(平成26年3月卒対象)では、学校全体で25.3%であった離職率が、平成27年度の調査(平成27年3月卒対象)では21.5%と年々減少傾向にある。平成28年度(平成28年3月卒対象)では14.9%にまで減らす目標。</p>	<p>離職率の低い就職先への斡旋や卒業生の勤務状況の把握を訪問の際に行う。</p> <p>退職理由のトップが人間関係によるものであるため、在学中のキャリア教育の充実が必要となる。</p> <p>教職員のカウンセリング研修を実施し、担任によるカウンセリング力の向上に努めている。</p>
5 学生支援	5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 就職など進路支援のための組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 担任教員と就職部門の連携など学内における連携体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生の就職活動の状況を学内で共有しているか <input type="checkbox"/> 関連する業界等と就職に関する連携体制を構築しているか <input type="checkbox"/> 就職説明会等を開催しているか <input type="checkbox"/> 履歴書の書き方、面接の受け方など具体的な就職指導に関するセミナー・講座を開講しているか <input type="checkbox"/> 就職に関する個別の相談に適切に対応しているか	4	<p>本校の就職支援は、就職に対するモチベーションを高めるために次のようにフローで行っている。</p> <p>1年次 10月 就職決起大会① 2月 業界実習 就職決起大会② 学内企業説明会</p> <p>2年次 5月 学内企業説明会 以降は個別活動</p> <p>開校以来、専門就職と内定100%に向けての就職支援・指導の徹底を教職員一丸となって取り組んでいる。就職支援・指導のため、開校以来教務部だけではなく、キャリアセンターを設け、求人票の獲得や、学生の内定を勝ち取るためのシステムを構築している。</p>	<p>【学内企業説明会の実施】</p> <p>企業の採用時期に合わせて開催し、学校に採用の担当者をお呼びし、面接試験などを行ってもらう。</p> <p>【履歴書作成+面接指導】</p> <p>自己PRと志望動機について、学生と相談しながらより魅力的な内容となるよう、徹底指導を実施。また面接本番に向け、学生は職員から面接指導を受けることを基本的に義務化している。そして、面接指導をした職員は、各学生のウィークポイント克服に向けて、他の職員に情報を共有し次の面接練習に活かす工夫をしている。</p>
	5-17-1 退学率の低減が図られているか	<input type="checkbox"/> 中途退学の要因、傾向、各学年における退学者数等を把握しているか <input type="checkbox"/> 指導経過記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 中途退学の低減に向けた学内における連携体制はあるか <input type="checkbox"/> 退学に結びつきやすい、心理面、学習面での特別指導体制はあるか	4	<p>年度の初めに、学科ごとの目標を立てる。その際、前年度の退学者の傾向を分析し、対策を立てたうえで、目標数字を決定。また、年度の終わりには、進級・卒業判定会議資料として進級者名簿・数と退学者名簿・数、退学時期、退学問題分類、詳細、その結果を受けた学科総括と次年度対策案を書類として作成している。</p> <p>学生の心理面サポートとして、担任面談やJTSC(カウンセラー)との連携を行っている。</p> <p>学習面に関し、低学力者対策や資格試験対策補習の体制を行っている。</p>	<p>基礎学力不足の学生向けの補習や、学生ひとり一人の相談にのれるよう定期的なカウンセリングなどに力を注いでいる。専門学校の退学者率の水準が一般に10%と言われている中で、本校の低減度は高いレベルにあると思われる。ひとり一人の学生に合わせた支援体制が構築されつつあるが、入学生の変化に柔軟に対応できる体制が求められる。</p>
	5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 専任カウンセラーの配置等相談に関する組織体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 相談室の設置など相談に関する環境整備を行っているか <input type="checkbox"/> 学生に対して、相談室の利用に関する案内を行っているか <input type="checkbox"/> 相談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 関連医療機関等との連携はあるか <input type="checkbox"/> 卒業生からの相談について、適切に対応しているか	5	<p>「滋慶-カルサポ-センター(JTSC)」をグループ校全体利用の学生相談室とし、学生または担任からの希望によりカウンセリングを受ける事が出来る。また、サポートアンケートを毎年実施し精神面に不安のある学生、学園で運営している「慶生会クリニック」にて心理面が要因となる体調不良が認められた際、JTSCを助める体制を作っている。面談の記録としてサポートシートを活用しJTSCと担任による双方の支援を共有している。このJTSC利用に関しては入学説明会から案内をし、ポスター掲示や案内カードの配布等で学生に向け広く紹介をしている。卒業生の相談は卒業学科の職員やキャリアセンターが相談対応をしている。</p>	<p>全教職員が、カウンセリングマインドを持ち学生支援を行えるよう学園内組織(滋慶教育科学研究所)が主催する「JESCカウンセラー資格」を取得しカウンセリング技術の統一を図っている。心理学・カウンセリング基礎知識の習得のより学生相談室との連携がスムーズになっている。</p>

5	5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 留学生の相談等に対応する担当の教職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 留学生に対して在籍管理等生活指導を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に対し、就職・進学等卒業後の進路に関する指導・支援を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 留学生に関する指導記録を適切に保存しているか	4	学校生活における留学生の支援、指導は担任、学生サービスセンター、キャリアセンターが連携を取りながら行っている。卒業後の支援の窓口は学生サービスセンターが行い、状況把握をしている。指導記録は日本人学生と同様に管理をしている。	法人の国際教育センターに専門の担当者を置き対応にあっている。
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校独自の奨学金制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 大規模災害発生時及び家計急変時等に対応する支援体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 学費の減免、分割納付制度を整備しているか <input type="checkbox"/> 公的支援制度も含めた経済的支援制度に関する相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について学生・保護者に十分情報提供しているか <input type="checkbox"/> 全ての経済的支援制度の利用について実績を把握しているか	5	学校が窓口となり、日本学生支援機構の奨学金の手続きを行っている。災害発生時、家計急変時、速やかに学生の状況確認をし、支援を行っている。また、公的奨学金利用者には分割納付の許可をしている。このような各種支援制度利用にあたっては申請書類を取り交わし状況把握をしている。このような制度に関しては募集要項にも記載しており、HPでは保護者からのメール相談も受けている。	学費(学生サービスセンター) 学費納入を支援する納入サポートプランを入学前から紹介し、学費困難からの退学者がでないよう支援をしている。学内には学園の専門教育を受けたフィナンシャルアドバイザーが常駐しており入学から卒業に至るまで学費相談を行っている。
	5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学校保健計画を定めているか <input type="checkbox"/> 学校医を選任しているか <input type="checkbox"/> 保健室を整備し専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 定期健康診断を実施して記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 有所見者の再健診について適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 健康に関する啓発及び教育を行っているか <input type="checkbox"/> 心身の健康相談に対応する専門職員を配置しているか <input type="checkbox"/> 近隣の医療機関との連携はあるか	5	学校保健法に基づき4月に全ての学生、11月に全教職員に対して定期健康診断を実施している。結果は学校医も保管をしており、有所見者、再健診者の対応を行っている。保健室の整備はあるが対応が難しい状況の際には学校医が速やかに対応をする体制が取れている。学校医と定期的に会議を行い時期毎の学生の健康管理対策についてアドバイスをもらっている。本校は医療系の学校ということもあり近隣の医療機関との交流も深い。	健康(慶生会クリニック、滋慶トータルサポートセンター) 学園グループが運営する慶生会クリニックにて健康相談や歯科、内科の受診を行っている。また、メンタル面に不安を抱える学生は学園の学生相談室である滋慶トータルサポートセンターにてカウンセリングを受ける事ができる。
	5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 遠隔地から就学する学生のための寮を整備しているか <input type="checkbox"/> 学生寮の管理体制、委託業務、生活指導体制等は明確になっているか <input type="checkbox"/> 学生寮の敷、利用人員、充足状況は、明確になっているか	4	提携している学生寮は計6棟。それぞれ学校まで徒歩2~18分の通学時間。 寮父母の常駐および巡回型。食事有無の選択もでき、安全で健康的で清潔な環境が確保されている。学生寮の運営は、学園グループ企業がっており、学校との連携を密に図っている。	管理人が各寮を巡回したり、電話相談に応じるなど24時間体制でサポートを行っている。
	5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> クラブ活動等の団体の活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 大会への引率、補助金の交付等具体的な支援を行っているか <input type="checkbox"/> 大会成績など実績を把握しているか	4	4団体(英語・ダンス・ショー・学生スタッフ)が学友会活動の一環としてサークル活動を行なっている。 それぞれ定期的に学生主体で活動しており、各部に顧問(世話役)として教職員が関わっている。	
	5-20-1 保護者との連携体制を構築しているか	<input type="checkbox"/> 保護者会の開催等、学校の教育活動に関する情報提供を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 個人面談等の機会を保護者に提供し、面談記録を適切に保存しているか <input type="checkbox"/> 学力不足、心理面等の問題解決にあたって、保護者と適切に連携しているか <input type="checkbox"/> 緊急時の連絡体制を確保しているか	5	入学前後に合同保護者会を実施し、教育、就職、学費等について説明している。その後は各学科で教育スケジュールに沿って学年ごとに時期を定め実施している。その際には保護者会終了後、希望者の個人面談を行い、個別に面談記録をファイリングしている。また、保護者の連絡先は把握しており緊急連絡を入れる場合もある。	入学から資格取得、就職、卒業に至るまで保護者の協力は重要と考えており、入学時から保護者連携の体制を確立している。各保護者会には多くの保護者の参加があり教育に関する関心が高く個別相談希望者が多い。
	5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 同窓会を組織し、活動状況を把握しているか <input type="checkbox"/> 再就職、キャリアアップ等について卒業後の相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 卒業後のキャリアアップのための講座等を開講しているか <input type="checkbox"/> 卒業後の研究活動に対する支援を行っているか	3	卒業生を正会員とした同窓会組織がある。同窓会の目的は、会員相互の親睦、キャリアアップと母校教育の振興に寄与することである。 【生涯就職支援システム】 キャリアアップを目指す卒業生や転職を希望する卒業生に対して、キャリアセンターでは卒業後も就職の支援をしている。 平成27年度は開業セミナーを実施。	業界で活躍している卒業生を業界ごとで集約し、同じ業界での卒業生の横のつながりが出来るような同窓会を今後、作ることを考えている。
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 関連業界・職能団体等と再教育プログラムについて共同開発等を行っているか <input type="checkbox"/> 学会・研究会活動において、関連業界等と連携・協力を行っているか	3	同窓会の位置付けで、業界を交えた勉強会のプログラムを実施している。	一部の学科のみ実施。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	<input type="checkbox"/> 社会人経験者の入学に際し、入学前の履修に関する取扱いを学則等に定め、適切に認めているか <input type="checkbox"/> 社会人学生に配慮し、長期履修制度等を導入しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室等の利用において、社会人学生に対し配慮しているか <input type="checkbox"/> 社会人学生等に対し、就職等進路相談において個別相談を実施しているか	5	学則にて入学前の履修の単位認定について定めている。社会人を視野に入れ、修業年限を配慮した学科を設置している。長期履修制度を導入している。 就職支援についても新卒・既卒分けて個別支援を行っている。	想定される様々な事案での支援策を講じている。成功例、失敗例をケーススタディとし職員研修で役立てている。担任自身が解決できない問題は速やかに担当部署や担当者と連携を取るシステムが出来上がっている。	
6 教育環境	6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	<input type="checkbox"/> 施設・設備・機器類等は設置基準、関係法令に適合し、かつ、充実しているか <input type="checkbox"/> 図書室、実習室など、学生の学習支援のための施設を整備しているか <input type="checkbox"/> 図書室の図書は専門分野に応じ充実しているか <input type="checkbox"/> 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備のバリアフリー化に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 手洗い設備など学校施設内の衛生管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 卒業生に施設・設備を提供しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等について適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 施設・設備等の改築・改修・更新計画を定め、適切に執行しているか	5	国家資格系の養成施設として認可を受けており法令遵守が大前提となり、施設、設備、機器、図書等に関して問題なく整備されている。休館場所としては教室や学生ホールを開放している。毎日2回の清掃が入っているが、学生にも掃除当番があり設備は清潔に保たれている。学生サービスセンターにて施設・設備の日々の点検を行っているが管理会社に定期点検を委託している。卒業生の施設資料に関しては積極的に受入れをしており、勉強会等を自主的に行っている卒業生グループもある。改築等は、5か年の事業計画を作成し計画的に行っている。実習授業に力を入れている本校にとり、学内実習室が実際の現場で使われている設備を揃えていることが、必要不可欠である。実践教育のための学内施設、設備はかなり高いレベルで整備されていると考えている。 各教室、実習室は、各種の申請に必要な条件を全て満たす環境として、認可を得ている。	主な実習室 ・サロン実習室 ・シャンブール・カラリング実習室 ・エステ実習室(ボディ) ・エステ実習室(フェイシャル) ・メイク実習室 ・ビューティアドバイザー実習室 ・ドレスサロン実習室 ・ファッション実習室 ・図書室 ・キャリアセンター
	6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	<input type="checkbox"/> 学外実習等について、意義や教育課程上の位置づけを明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について、実施要綱・マニュアルを整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 関連業界等との連携による企業研修等を実施しているか <input type="checkbox"/> 学外実習について、成績評価基準を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学外実習等について実習機関の指導者との連絡・協議の機会を確保しているか <input type="checkbox"/> 学外実習等の教育効果について確認しているか <input type="checkbox"/> 学校行事の運営等に学生を積極的に参画させているか <input type="checkbox"/> 卒業生・保護者・関連業界等、また、学生の就職先に行事の案内をしているか	4	学外実習は、明確に教育課程上に位置づけられている。実習実施に際し、要綱やマニュアル、評価基準を明確にし、受け入れ先サロンや企業等と綿密な打合せの上、実施している。 海外研修は、この国際教育という理念に基づき主要な教育実践の場と言える。海外研修の選航先に関し、各学科の目指す業界に対して一番の先進国であり、そこでの活動を十分に体験出来ることを前提に選定している。 【平成27年度】 ●ハワイ ●フランス(パリ・ニース) ●イギリス(ロンドン) ※フランス・イギリスはテロの影響により延期	学外実習(現場実習)を点で捉えるのではなく、線(フロー)で捉えている。そのため、実習の前には実習前教育と実習後教育を実施しており、実習前教育では、実習に臨む姿勢と注意点について、また実習後教育では実習後の振り返りと今後の課題設定について学生に考えさせている。 海外研修は内容の充実度合いが非常に高いことから、全学生に参加してもらいたい研修ではあるが、費用も高いため、本校では希望者を募り研修を実施している。不参加学生に対しては、国内国際性講座を開講し、単位を取得して貰っている。
	6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校防災に関する計画、消防計画や災害発生時における具体的行動のマニュアルを整備しているか <input type="checkbox"/> 施設・建物・設備の耐震化に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災・消防施設・設備の整備及び保守点検は法令に基づき行い、改善が必要な場合は適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 防災(消防)訓練を定期的に実施し、記録を保存しているか <input type="checkbox"/> 備品の固定等転倒防止など安全管理を徹底しているか <input type="checkbox"/> 学生、教職員に防災教育・研修を行っているか	4	東日本大震災の教訓を生かし防災マニュアルを整備し、災害の種類による対応と防災訓練を行っている。管理会社も訓練に参加し、写真等の記録も残している。防災・防火に関する点検は法令に基づき管理会社が行っている。 また、緊急時における機器・備品も準備されている(非常灯設置、ランタンや自家発電式防災ラジオ付き電灯、AEDなど)。 4/24全学生を対象に避難訓練を実施。(地震による津波を想定)	防災訓練の映像化(DVD)がされており、学生・教職員・講師全員が視聴し、防災の意識を高めている。 【AEDの校舎設置】 校舎入り口付近に自動体外式除細動器(AED)計1台を設置している。月に一度自動体外式除細動器(AED)の点検をしている。また教職員には、使用方法の講習済みである。教職員向けに心肺蘇生法の講習を定期的に実施している。
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 学校安全計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 学生の生命と学校財産を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 授業中に発生した事故等に関する対応マニュアルを作成し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 薬品等の危険物の管理において、定期的にチェックを行うなど適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 担当教員の明確化など学外実習等の安全管理体制を整備しているか	5	マニュアルの整備、スタッフの役割分担、学生への情報提供など体制の整備はされている。施設した部屋の中に更に施設した薬品庫を置き、管理担当者も置いている。防災、火災訓練を実施し、学生、教職員、講師へ避難手順や対応方法を指示し実施している。また、救急時における知識の習得と意識付けは出来ている。		
7 学生の募集と受け入れ	7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	<input type="checkbox"/> 高等学校等における進学説明会に参加し教育活動等の情報提供を行っているか <input type="checkbox"/> 高等学校等の教職員に対する入学説明会を実施しているか <input type="checkbox"/> 教員又は保護者向けの「学校案内」等を作成しているか	5	高等学校等の教職員に対する入学説明会を毎年実施している。また、高等学校等で実施している進学説明会に積極的に参加し、本校の教育活動の情報を提供している。高校教員・保護者に向けたパンフレットを作成し、学校情報の提供を積極的に行っている。	
	7-25-2 学生募集を適切かつ効果的に行っているか	<input type="checkbox"/> 入学時期に照らし、適切な時期に願書の受付を開始しているか <input type="checkbox"/> 専修学校団体が行う自主規制に即した募集活動を行っているか <input type="checkbox"/> 志願者等からの入学相談に適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学校案内等において、特徴ある教育活動、学修成果等について正確に、分かりやすく紹介しているか <input type="checkbox"/> 広報活動・学生募集活動において、情報管理等のチェック体制を整備しているか <input type="checkbox"/> 体験入学、オープンキャンパスなどの実施において、多くの参加機会の提供や実施内容の工夫など行っているか <input type="checkbox"/> 志願者の状況に応じて多様な試験・選考方法を取入れているか	5	本校は福岡県専修学校各種学校協会に加盟し、同協会の定められたルールに基づいた募集開始時期、募集内容(推薦入試による受け入れ人数)を遵守している。 志願者からの問い合わせに関して、あいまいな事は入学事務局から改めて連絡するようにしており、不確実な事が外部に伝わらないように徹底している。 個人情報の管理については学科毎にひとり一人の受験生の情報をファイリングし、厳重に保管している。 体験入学・オープンキャンパスなどは毎週定期的に実施しており、時期ごとに志願者の意向にあわせて内容で実施している。	学校として、学生募集活動を入学前教育と位置づけしており、受験生の①職業適性の発見・開発②目的意識の開発の支援をしていく重要なプログラムであると考えている。
	7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 入学選考基準、方法は、規程等で明確に定めているか <input type="checkbox"/> 入学選考等は、規程等に基づき適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 入学選考の公平性を確保するための合否判定体制を整備しているか	5	入学選考に関しては、基準を募集要項に明示し、決められた日程に実施している。 合否の判定体制に関しては学校長・事務局長(局次長)・教務部長・広報センター長・全学科長により構成される「選考会議」にて合否を決定する。面接・書類内容・選考試験が実施されている場合、その結果をふまえて総合的に判断している。	福岡県専修学校各種学校協会の定めによるルール、及び学則を基にし、募集要項で明記した入学選考方法通り選考をしている。
	7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	<input type="checkbox"/> 学科毎の合格率・辞退率などの現況を示すデータを蓄積し、適切に管理しているか <input type="checkbox"/> 学科毎の入学者の傾向について把握し、授業方法の検討など適切に対応しているか <input type="checkbox"/> 学科別応募者数・入学者数の予測数値を算出しているか <input type="checkbox"/> 財務等の計画数値と応募者数の予測値等との整合性を図っているか	4	合格率及び辞退率などの現況を示すデータは入試選考毎に蓄積し、適切に管理が出来る。 毎年入学者・非入学者のアンケートを実施し、入学者の傾向の把握に努め、授業方法などの検討材料としている。	将来の希望分野への適性を見極めるため、面接の比重を多くしている。 結果として、学力のみにとらわれない、モチベーションの高い学生確保に役立っている。
	7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	<input type="checkbox"/> 学納金の算定内容、決定の過程を明確にしているか <input type="checkbox"/> 学納金の水準を把握しているか <input type="checkbox"/> 学納金等徴収する金額はすべて明示しているか	4	常に学納金を下げたいという、予算管理を行い無駄な支出が無いことを確認している。 在学中の徴収金額の総額を募集要項に記載し、事前に明示の無い徴収は行わない。	入学以前の募集要項上において、事前に年間必要額を明示しているため、保護者に関しては年間支出計画が立てやすい。 また、高等学校在学者に対しても、日本学生支援機構の予約採用のアナウンスや教育ローンの案内をするなど、学費負担者の立場にわたってのアドバイスを実施している。
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	<input type="checkbox"/> 文部科学省通知の趣旨に基づき、入学辞退者に対する授業料の返還の取扱いに対して、募集要項等に明示し、適切に取扱っているか	5	福岡県専修学校各種学校協会のルールを基準とし、募集要項等に通知の趣旨に基づき募集要項に返還の基準を明確に記載している。	入学辞退の申し出があった際には個別にも詳細の説明を行っている。	

8 財務	8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	<input type="checkbox"/> 応募者数・入学者数及び定員充足率の推移を把握しているか <input type="checkbox"/> 収入と支出はバランスがとれているか <input type="checkbox"/> 貸借対照表の翌年度繰越収支超過額がマイナスになっている場合、それを解消する計画を立てているか <input type="checkbox"/> 消費収支計算書の当年度消費収支超過額がマイナスとなっている場合、その原因を正確に把握しているか <input type="checkbox"/> 設備投資が過大になっていないか <input type="checkbox"/> 負債は返還可能な範囲で妥当な数値となっているか	5	<p>毎年事業計画書を作成し、5か年の収支予算を立てている。その中で入学者数、在校生数、退学者等を勘案して学費明細を作成し、収入予算の推移を把握している。</p> <p>また新学科構想、設備について計画し、支出予算を作成している。</p> <p>借入金等長期資金の計画については、都道府県の基準の範囲内で計画・実行している。</p> <p>これらは理事会・評議員会にて承認、報告がなされている。</p>	<p>収入と支出のバランスは、理事会で毎年確認されている。</p> <p>学園本部の機能として二重チェックの体制となっており、学校の財務体制をしっかりと管理し、健全な学校運営ができるような仕組みになっている。</p>
	8-28-2 学校及び法人運営に係る主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	<input type="checkbox"/> 最近3年間の収支状況(消費収支・資金収支)による財務分析を行っているか <input type="checkbox"/> 最近3年間の財産目録・貸借対照表の数値による財務分析を行っているか <input type="checkbox"/> 最近3年間の設置基準等に定める負債関係の割合推移データによる償還計画を策定しているか <input type="checkbox"/> キャッシュフローの状況を示すデータはあるか <input type="checkbox"/> 教育研究費比率、人件費比率の数値は適切な数値になっているか <input type="checkbox"/> コスト管理を適切に行っているか <input type="checkbox"/> 収支の状況について自己評価しているか <input type="checkbox"/> 改善が必要な場合において、今後の財務改善計画を策定しているか	5	<p>キャッシュフローに基づいた学校運営を重視しており、経費予算のみでなく施設設備支出、借入金返済等を考慮した資金収支の予算も作成している。</p> <p>数値は3か月ごとに算定し、学園本部によるチェックがあり適正な予算管理がされている。</p>	<p>キャッシュフローを重視した運営をしている。また、単年度の予算を綿密に作成している。指揮命令の系統が明確になっており、内部承認体制が確立されている。</p>
	8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	<input type="checkbox"/> 予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図っているか <input type="checkbox"/> 予算の編成過程及び決定過程は明確になっているか	5	<p>5か年の収支予算を作成し、毎年更新される。将来の学生数予測に基づき、収入予算が作成される。また、新学科構想、設備支出等を勘案し支出予算となる。</p>	<p>予算を立てるだけでなく一年の流れの中で随時見直しをしている。それにより収支計画が実現可能なものとなり、財務基盤の強化につながっている点が特徴として挙げられる。</p>
	8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	<input type="checkbox"/> 予算の執行計画を策定しているか <input type="checkbox"/> 予算と決算に大きな乖離を生じていないか <input type="checkbox"/> 予算超過が見込まれる場合、適切に補正措置を行っているか <input type="checkbox"/> 予算規程、経理規程を整備しているか <input type="checkbox"/> 予算執行にあたってチェック体制を整備するなど誤りのない適切な会計処理を行っているか	5	<p>収支予算については学校現場のみならず学園本部も協議しながら作成し、見直しをする。そのため予算の本部と現場との認識のずれはない。</p> <p>作成された予算は、理事会・評議員会で承認を受ける。</p> <p>必要に応じ、年次途中で修正予算を組む。</p>	<p>将来の安定した財務基盤が保てるよう、毎年5か年の予算を組んでいる。これにより中長期的視点で、予算を管理することができる。</p>
	8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	<input type="checkbox"/> 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査報告書を作成し理事会等で報告しているか <input type="checkbox"/> 監事の監査に加えて、監査法人による外部監査を実施しているか <input type="checkbox"/> 監査時における改善意見について記録し、適切に対応しているか	5	<p>体制を整えるべく、学校法人滋慶学園は公認会計士による監査と監事による監査を実施し、その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会においてその報告をしている。</p>	<p>私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。</p>
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	<input type="checkbox"/> 財務公開規程を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 公開が義務づけられている財務帳票、事業報告書を作成しているか <input type="checkbox"/> 財務公開の実績を記録しているか <input type="checkbox"/> 公開方法についてホームページに掲載するなど積極的な公開に取り組んでいるか	5	<p>私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備されている。</p> <p>外部関係では寄附行為の変更認可及び行政への届出、そして内部関係では財務情報公開規程及び情報公開マニュアルを作成し、財務情報公開体制を整備した。財務情報公開の体制整備は平成17年4月1日には終了し、体制整備はできている。学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。今後ともどんな法改正にも迅速に対応していくと考えている。</p>	<p>「財務情報公開規程」「情報公開マニュアル」によって、秩序整然たる順序に基づいて情報公開に対処している点が特徴として挙げることができる。</p>	
9 法令等の遵守	9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	<input type="checkbox"/> 要な諸届等適切に行っているか <input type="checkbox"/> 学校運営に必要な規則・規程等を整備し、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> セクシュアルハラスメント等ハラスメント防止のための方針を明確化し、防止のための対応マニュアルを策定して適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、コンプライアンスに関する相談受付窓口を設置しているか <input type="checkbox"/> 教職員、学生に対し、法令遵守に関する研修・教育を行っているか	5	<p>コンプライアンスセンターが法令遵守を行っており適正な学校運営を行っている。</p> <p>また、法人本部内にコンプライアンス、労務人事、リスクマネジメント等を管理および指導する人員を配置しており、学校担当者と連携を取っている。</p> <p>法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、平成17、18年度完全に整備させた。</p> <p>また、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する教育または研修を、リーダーと実務担当者で実施している。</p>	<p>監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。</p>
	9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	<input type="checkbox"/> 個人情報保護に関する取扱方針・規程を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 大量の個人データを蓄積した電磁記録の取扱いに関し、規程を定め、適切に運用しているか <input type="checkbox"/> 学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策を講じているか <input type="checkbox"/> 学生・教職員に個人情報管理に関する啓発及び教育を実施しているか	4	<p>教職員に対して、就業規則等にも個人情報保護を明記するとともに、研修を実施している。近年、急激に普及し問題となっているSNSに関する取り扱いも学生への教育に生かしている。</p> <p>個人データの管理取扱い、サイトの運用は関連企業の協力を得て適正に管理している。平成17年4月1日に個人情報保護の体制は完了している。今後は個人情報保護の教職員への啓蒙(=研修制度確立済み)と、その運営体制の整備に力を入れることを考えている。</p>	<p>外部機関の「TRUSTe」より国際規格の認証を獲得し、毎年個人情報保護管理状況についての検定を受け、ライセンスを更新し、ホームページ上に明記している。</p>
	9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施に係る組織体制を整備し、毎年度定期的に全学で取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づき、学校改善に取り組んでいるか	5	<p>平成17年には、自己点検・自己評価についての方針を常務会にて打ち出され、その方針のもと、平成18年12月委員会を立ち上げる。私立専門学校等学校評価検討委員会の基準を元に、本校の自己評価を真摯に行うことを確認し、19年度以降の事業計画にも反映し、全学で取り組んでいる。</p>	<p>法令を遵守するという考えを学園の方針に掲げ、教職員全員でその方針を理解し実行に努めている。法人理事会の元に、コンプライアンス委員会を設立し、学校運営が適正かどうか判断している。現状では、学校運営/学科運営が適正かどうかは、各調査においてチェックできるようにしている。また、組織体制強化やシステム構築にも努めている。</p>
	9-34-2 自己評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	5	<p>毎年評価を行い報告書にまとめている。またHP上にて公開している。</p>	<p>各委員会、組織体制、システムで、常に健全な学校・学科運営ができるように努めている。</p> <p>各調査</p> <p>1. 学校基本調査(文部科学省)</p> <p>2. 国家資格対象学科 年次報告と年次指導調査(厚生労働省)</p> <p>3. 自己点検・自己評価(私立専門学校等評価研究機構)</p> <p>4. 学校法人調査(日本私立学校事業団)</p> <p>5. 専修学校各種学校調査(福岡県専修学校各種学校協会)</p> <p>※調査内容: 学校の現状</p> <p>在籍調査</p> <p>学生・生徒納付金調査</p> <p>卒業者の就職状況調査</p> <p>就職希望者内定状況調査</p> <p>財務状況調査</p> <p>財務情報公開に関する調査</p>
	9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	<input type="checkbox"/> 実施に関し、学則及び規程等を整備し実施しているか <input type="checkbox"/> 実施に際して組織体制を整備し、実施しているか <input type="checkbox"/> 設置課程・学科に関連業界等から委員を適切に選任しているか <input type="checkbox"/> 評価結果に基づく学校改善に取り組んでいるか	5	<p>委員については、美容業界、ブライダル業界、高等学校校長、保護者、卒業生、近隣(公民館長)を委員に選任し、学校関係者評価を組織的に実施している。また、評価結果を真摯に受け止める学校改善へと繋げている。</p>	
	9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	<input type="checkbox"/> 評価結果を報告書に取りまとめているか <input type="checkbox"/> 評価結果をホームページに掲載するなど広く社会に公表しているか	5	<p>毎年評価を行い報告書にまとめている。またHP上にて公開している。</p>	<p>職業実践専門課程の申請によりHPの構成を見直すことができ、情報公開のページを分かりやすく変更した。</p>
	9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的にしているか	<input type="checkbox"/> 学校の概要、教育内容、教職員等教育情報を積極的に公開しているか <input type="checkbox"/> 学生、保護者、関連業界等広く社会に公開するための方法で公開しているか	5	<p>学校にとって教育は商品であり、内容の説明は重要である。公表をし、学校をより深く理解してもらえよう取り組みを行っている。自己評価及び学校関係者評価について討議した結果、平成25年度から学校関係者評価の実施に向けた取組みを行うことと合わせて、自己点検・自己評価は原則として全文公開することが決まり、平成25年度よりHP上で公開を行っている。</p>	
10 社会貢献・地域貢献	10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	<input type="checkbox"/> 産・学・行政・地域等との連携に関する方針・規程等を整備しているか <input type="checkbox"/> 企業や行政と連携した教育プログラムの開発、共同研究の実績はあるか <input type="checkbox"/> 国の機関からの委託研究及び雇用促進事業について積極的に受託しているか <input type="checkbox"/> 学校施設・設備等を地域・関連業界等・卒業生等に開放しているか <input type="checkbox"/> 高等学校等が行うキャリア教育等の授業実施に教員等を派遣するなど積極的に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 学校の実習施設等を活用し高等学校の職業教育等の授業実施に協力・支援しているか <input type="checkbox"/> 地域の受講者等を対象とした「生涯学習講座」を開講しているか <input type="checkbox"/> 環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか <input type="checkbox"/> 学生・教職員に対し、重要な社会問題に対する問題意識の醸成のための教育、研修に取り組んでいるか	4	<p>本校では学校の存在価値として4つの信頼を掲げている。その中に地域からの信頼を掲げ、社会貢献、地域貢献に積極的に取り組み、地域の方々からの信頼を得られる事を行動の指針としている。</p> <p>具体的な取り組み例としてはトータルビューティ科において、近隣の老人ホームを定期的に訪問し、学生が主体となって美容サービスを利用者に提供している。</p> <p>また、冷暖房使用時は、設定温度を調整、廊下等の照明消すなどの節電を実施、温暖化対策委員会を学園として設置し中心に活動している。</p>	<p>学校と企業が一体化した「企業プロジェクト」を立ち上げ、学生と教員が一体となり運営している。主に、子供から高齢者に対し、「美」のサービス(ハンドマッサージ、ネイル、メイクetc.)を提供している。</p> <p>また、地域の行事にも積極的に人的・物理的な協力をし、地域社会への貢献を図っている。施設や事業所でのボランティア活動も多様な要請に可能な限り応じている。</p> <p>社会問題としては、地球温暖化及び節電の取り組みを行っている。</p>
	10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	<input type="checkbox"/> 海外の教育機関との国際交流の推進に関する方針を定めているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と教職員の人事交流・共同研究等を行っているか <input type="checkbox"/> 海外の教育機関と留学生の受入れ、派遣、研修の実施など交流を行っているか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れのため、学修成果、教育目標を明確化し、体系的な教育課程の編成に取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 海外教育機関との人事交流、研修の実施など、国際水準の教育力の確保に向け取り組んでいるか <input type="checkbox"/> 留学生の受入れを促進するために学校が行う教育課程、教育内容・方法等について国内外に積極的に情報発信を行っているか	5	<p>本校は建学の理念として、実学、人間、国際教育を掲げている。海外研修はこの理念に基づく主要な教育実践の場になっている。各学科の特長、特色に合わせて、海外研修先を選定し、1年次を中心に1週間から10日間にプログラムで、実施している。</p> <p>教育体制は、必ず渡航前の実習前教育と渡航後の実習後教育を実施して、動機付け一海外研修一振り廻り一共有のプログラムを行い、海外での学習体験をしっかりと知識となるように取り組んでいる。</p>	<p>海外との国際交流プログラムは研修費用の面で参加できない学生も多いため、国内で学習できる国際性教育もプログラム化している。</p>
	10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	<input type="checkbox"/> ボランティア活動など社会活動について、学校として積極的に奨励しているか <input type="checkbox"/> 活動の窓口の設置など、組織的な支援体制を整備しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を把握しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動実績を評価しているか <input type="checkbox"/> ボランティアの活動結果を学内で共有しているか	4	<p>ボランティアは積極的に推奨している。特にトータルビューティ科は、ボランティア実績が多い状況になっている。</p> <p>トータルビューティ科は、1年間のスケジュール内にボランティア期間を定めて、ほぼ全学生がボランティア活動を体験するプログラムになっている。学生のボランティア活動に関しては、現状学校主導でサポートしている部分が主である。今後、全ての学生が、ボランティア精神を持って、主体的に活動できるような教育プログラムを構築する必要がある。</p>	<p>近隣の老人ホームを定期的に訪問し、学生が主体となって美容サービスを利用者に提供している。また、業界との連携も強化し、24時間テレビでの美容サービスを行っている。</p>